



《抱き人形》明治時代

《シモトリスト》1880年頃

## THE GLORY OF JAPANESE SWORD

名刀への道  
2020.1.7[火]—2.16[日]



重要文化財 短刀 銘 吉光〈名物 信濃藤四郎〉 鎌倉時代(13世紀) 致道博物館蔵

**反**りや鋸という特徴を持つ日本刀は、平安時代後半から鎌倉時代の初め頃(12世紀から13世紀頃)に完成したといわれています。本展では、伯耆(鳥取県)の安綱、豊後(大分県)の行平、備前(岡山県)の包平など刀剣史に燦然と輝く刀工たちが活躍した、日本刀完成期の刀剣を中心にご紹介します。

例えば豊後の行平は、現在の大分県で活躍した刀工で、鬼神と共に刀を打ったというまさに日本刀黎明期にふさわしい神秘的な逸話が残ります。後鳥羽上皇(1180-1239)が院にて名工に鍛刀させようとした際、そのひとり選ばれたともいわれ、古より高い評価を得ていました。行平の太刀は細身で反りが

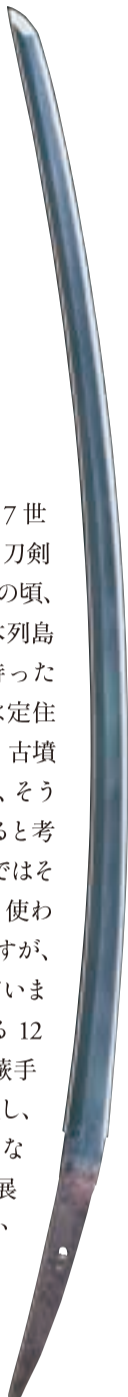
つき、平安時代の優美さを宿した美しい姿です。皇室をはじめ名だたる大家の蔵刀として、あるいは神社の宝物として今日まで伝えられてきました。本展では、上杉家伝来の一口をご紹介します。

作品そのものが優れているのは勿論ですが、そこにまつわる伝説や歴史もまた、行平をはじめとするこの時期の刀剣に人々が惹きつけられる大きな要因のようです。平安時代後半から鎌倉時代の初め頃より、刀剣の莖には作者の名前をはじめ、居住地や制作年が刻まれるようになり、日本の刀剣史がはじまっています。

さて、このような名だたる刀工が活躍する以前の刀剣はどのようなものだったと思いますか? 日本では

古墳時代(3世紀から7世紀)の遺跡から多くの刀剣が出土しています。この頃、大陸からそれまで日本列島になかった技術を持った人々が渡来し、中には定住した人もいたようです。古墳から出土する直刀は、そういった人々に由来すると考えられています。日本ではその後も刀剣が造られ、使われてきたと考えられますが、詳しいことは分かっていません。そこで現存する12世紀以前の直刀や、蕨手刀といった刀剣を概観し、名刀への道はどのようなものだったのかも本展を通して考えてみたいと思います。ぜひご来館ください。

(学芸グループ 志田理子)



## 人形に日本の心を見る — 永年の蒐集が生んだ珠玉のコレクション

人形の美 語りかけるひとがた  
—彫刻家 前島秀章・久代夫妻寄贈の人形コレクション  
2020.2.22[土]—4.5[日]



《嵯峨人形 犬連れ》江戸時代中期

**古**来、様々な人形が愛されてきた日本。これらの人形に魅了された彫刻家・前島秀章氏のコレクションが、佐野美術館に寄贈されました。このコレクションは前島氏と久代夫人が永年集められたもので、前島氏は人形に込められた日本人の心を、自らの彫刻制作の師と考えることができました。

充実したコレクションから、いくつか作品をご紹介します。《嵯峨人形 犬連れ》は、首を前後に振ると口許から舌が覗くというからくりが仕込まれた嵯峨人形の名品です。彩色の状態も良く、寄り添う犬の表情もユーモラスです。このコレクションには、江戸から明治時代の、脚の付け根と膝、足首の三か所が関節になっていて、坐らせることができる「三つ折れ人

形」がいくつかありますが、着物を着せ替えたり抱いてあやしたり本当の赤ん坊のように遊ぶ人形も多くあります。《抱き人形》はその典型的なもので、なんともいえない笑顔は思わず話しかけたくくなります。また人形作家・平田郷陽の作品も多く含まれているのも本コレクションの特徴です。郷陽は、卓越した造形表現によって重要無形文化財保持者に認定された作家です。特に純真無垢な子供の心まで表現した人形には定評がありました。

その他、ヘッドを二度焼きした磁器で作ったビスクドールもコレクションの大きな柱です。工房ごとに特徴的な個性豊かな表情を見ていると、人形を愛するという想いに東も西もないのだと思わされます。前島氏の創作を支えてきた、人形に込められた想い。様々なジャンルの人形たちから感じてもらえればと思います。

(館長 坪井則子)



《熟柿》平田郷陽 昭和40年代



重要文化財 太刀 銘 宝寿 鎌倉時代(13世紀) 静嘉堂文库美術館蔵 静嘉堂文库美術館イメージアーカイブ/DNPartcom 撮影:要史康

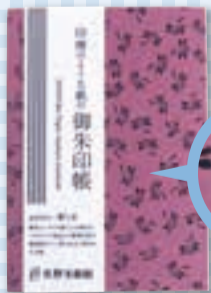
### ミュージアムショップ

#### 佐野美術館オリジナルグッズ

マスクingtテープ 罫 3種  
各510円(税込)



印傳のような紙の御朱印帳  
1,760円(税込)



#### スーベニール

がま口 桜・富士山 各1,100円(税込)



#### 三島商工会議所

三四呂(みよろ)人形ストラップ  
里子・桃子 各550円(税込)  
三島生まれの人形作家・野口三四郎(1901-37)が愛娘の桃里ちゃんをモデルにした作品を、再現したストラップ



#### ニッケン刃物

お守り刀はさみ 各1,650円(税込)



#### 東洋精密工業

茶托 鍔  
各1,100円(税込)